



# しながわ

第70号

社会福祉法人 佳松会  
令和6年3月1日発行

# 天晴れ

科長の郷

オーダム



オータムフェスタ





## オータムフェスタ



10月22日(日曜)快晴。会場には多くの保護者の皆さんが来場され、久方ぶりに利用者や他の保護者に会えてニコニコ顔。ステージショーでは、はかま姿の女性マジシャンがいきなり着物の袖から次々に色とりどりの舞傘を取り出し、ステージが傘いっぱいになるなどのパフォーマンスに魅了されました。次は、利用者チーム、保護者・兄弟チーム、職員チームに分かれて大縄跳びを競いました。数10年縄跳びをしたことのない方がほとんどで5～6名でチームをつくり、1回も跳べない方、顔を真っ赤にして跳んでいる方、転んでしまう方などハプニングもありましたが、頑張っている皆さんの笑顔も素敵で楽しそうでした。声援と笑い声に包まれ会場が大いに盛り上がりました。最後は、恒例の抽選会で、名前が呼ばれるたびに歓声とため息が交差する秋の1日でした。

## クリスマス会



Merry Christmas



12月23日テーブルにカラフルなクロスを敷き、さらにランチョンマットに飾られた豪華な食事でクリスマス会が始まりました。調理の皆さんが早朝から腕によりをかけて作ったクリスマスらしいごちそうとケーキフィルムを外した瞬間にとろけ落ちるチョコレート。利用者も職員も「ワ～」とのいい笑顔!

午後からは『音楽と絵本の会』による歌やゲームのレクリエーション。先生のピアノに合わせて一緒に歌ったり手拍子したりで、初めて参加した利用者さんも興味津々。会場はあたたかい空気に包まれました。その後は、お待ちかねのサンタクロースとトナカイが登場!「プレゼントは何かな?」と貰ったプレゼントをわくわくしながら開ける利用者の皆さん。生演奏をバックにおやつケーキを食べ、とても楽しいひと時を過ごしていただきました。





## ごちそう行事



保護者会からの温かいご支援により、昨年も11月14日『ごちそう行事』を開催することができました。当日は天気も良く、中庭に白いテーブルクロス of テーブルを並べスタッフも白と黒で衣装を合わせ、ジャズ調の音楽が流れ、ゆっくりとした時間の中でケータリングを行いました。茶美豚(チャーミートン)を使用したサラダや黒毛和牛、魚介類を使用した料理が次々と運ばれ「美味しかった!」「お腹いっぱい!」と利用者の皆様に笑顔が溢れ、大変満足して頂けたと思います。保護者会の皆様ありがとうございました。



## 忘年会・新年会

当法人を設立された故浜田理事長の誕生日(12月17日)に毎年忘年会を開催しています。昨年も橋本理事から沢山のお肉やウインナーを頂戴し、昼食はしゃぶしゃぶをいただき元気が出たところで、午後からは本格的な餅つきです。湯気がたつ石臼に重い杵を、利用者さん全員が職員の手を借りながら順番にぺったんぺったん。これをやって、1年間の苦労を忘れるとお正月がくるな〜って気持ちになりました。

こうして迎えた1月7日は新年会で、厨房職員特製の豪華な和風料理に舌鼓を打ちみんないい笑顔。食事が終わるとお楽しみのレクリエーション。小梅大夫にそっくりな二人のパフォーマンスに大笑い。次の、瓦割りを希望する利用者さんは拳を振り上げ、会場の「せーのっ、ヨイショー」の掛け声で勢いよく瓦を割り楽しめました。今年も皆さん健康で笑顔が絶えない一年になりますように!!



## 利用者の高齢化に対する着目点

利用者の平均年齢も50歳となりました。加齢に伴い内科疾患の方が増えていく中で筋力低下や骨密度の低下による骨折リスクの上昇、認知機能の低下による不潔行為や異食などの衛生観念への影響、意思疎通の困難、様々な危険を伴うリスク(自からを傷つけたり他人に危害を加える状況など)がみられるようになりました。その中でも筋力低下や骨密度の低下による骨折リスクの上昇を緩やかにするために、日頃から体力づくりの一環として毎日20分以上ウォーキングやダンスなどの有酸素運動を取り入れています。また、癌は日本では2人に1人の確率で発症するといわれる時代で、当施設でも早期発見のための定期健診・血液(腫瘍マーカー)検査だけでなく、昨年より男女乳がん検査も取り組んでいます。

これからも利用者の皆様の多様性に合わせた看護の目を向けていきたいと思っています。

## 分かちあいのカタチ

去年あたりから月に1度のペースで義母から“プレゼント”が届くようになった。着物や写真、食器に置物、大量のポケットティッシュに至るまでが、バブル期を思わせるゴージャスな柄の大判スカーフに包まれ我が家に舞い込んでくる。どうやら役所の窓口にあった『自分らしいこれからの生き方』というパンフレットに触発されたらしい。「終活、終活。貰ってくれる?」悲壮感のない明るい口調に私への気遣いが感じられるし、終活かどうかはさておき、今より住みやすい環境を意識しての断捨離は心身の健康に良さそうだ。「貰う!貰う!」私も明るく答えた。

年が明け、手元に残す品かどうか一人で決め難くなってきたと言うので、私が出向き一緒に品定めするようになった。秘め事を含めた思い出話やこれからの希望がチラホラと語られるようにもなってきた。「それ聞くの、3回目。」私も私で、途中まで聞いてそう気づくのだが、話術にはまりやすい質のようでついつい聞き入ってしまう。時折、希望が変わることもあるので、私なりに言い直して確認するようにしている。ひとしきりおしゃべりした後、スッキリした表情で見送ってくれる義母の笑顔に満足感を覚え、大小の包みを提げて家路につくのだが、迎える家族は呆れ顔だ。何せ、ほどこれることのない包みに自宅がどんどん占領されていくのだから。

そんな我が家の状態を知ってか知らずか、来月は義母が包みをほどきに來てくれると言う。何と元気なのだろう。今度は家族と一緒に4回目の思い出話を聞くことにしよう。



先日、夜道を歩いていて何気なく空を見上げると、流れ星を見ることができました。なんという偶然! またある日はたくさん生えているクローバーの中から四つ葉を発見。これまたラッキー! 日々の生活の中にある小さな喜びを見つけるのが楽しみになり、ついキョロキョロしてしまう今日この頃です。 広報担当: 前田

社会福祉法人 かしょうかい 佳松会

<http://kashokai.jp/>

しなが さと  
 科長の郷

障害者支援施設(生活介護)  
短期入所事業・日中一時支援事業

いえ  
 しながの舎

共同生活援助(グループホーム)

生活支援相談室しなが

基幹相談支援・計画相談支援  
地域相談支援(地域移行・地域定着)・障害児相談支援

ホームページは  
こちらから



## 篤志御礼(9月~1月)

敬称略・順不同

### 寄贈物品

翠田収、荻野有希、望田昭博、高島光宜、葉山保樹、猪倉厚、岩田元夫、岩田貴夫、古藤捷二、片山昌子、片山晃也、舌間章二、上田恭敏、三尾美津子、村上殷愛、森本勲、坂上暢子、米田昭、上原秀夫、片山晃也、村上智子、鉄本幸弘、岡崎やお江、大内茂博、阪本喜久夫、三村みのり、久保田剛史、ヒカリカガヤク、橋本孝雄、中山崇、内藤直美、山本直美、榎恵美子、脇田まゆ、寺尾卓之、麻生克己、コンフィア、岩田順子、太子道まつもと、フレンドファーマ春日薬局、テラカド、NST、奥田歯科医院、近畿環境サービス、なにわや、三栄基準寝具、わたなべ鍼灸整骨院、太子町社会福祉協議会、南大阪防災設備、肉の松阪、北畠裕子

### 寄付金

科長の郷保護者会、上田美代子、富田晶子、舌間章二、西川房子、三谷武夫、猪倉厚、岩田元夫、阪本正次、米田昭、中山崇、末延國康、高島光宜